

たるみ歯科通信

2018年3月号 No. 87

こんにちは。歯科衛生士の瀬川です。

この冬はとても寒かったですが、だんだん暖かくなってきてようやく春が近づいているのを感じられるようになりました。

さて今月の通信は1月号2月号に続き、私たち歯科衛生士の仕事の中でもとても大切な仕事のひとつ、「歯石をどのように取っているのか」をお話します。

歯石を取る理由は？

歯石とは歯垢が硬くなってしまったもので、歯ブラシでは取れません。

歯石が付いたままだと歯ぐきが腫れて、出血しやすくなり、歯周病がどんどん進んでしまいます。

また、歯石の表面はザラザラしているので細菌が付きやすく口臭の原因にもなります。ですから歯周病を治して引き締まった健康な歯ぐきにするには歯石をしっかりと取ることがとても大切なんです。

歯石治療前



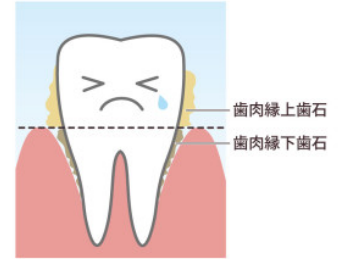
治療後



どうやって歯石を取るの？

歯ぐきより上に付いている目に見える歯石(縁上歯石)は簡単に取ることができますが、歯周ポケットの中にある歯石(縁下歯石)は歯に強固にくっついていてなかなか取れません。

縁下歯石は見えない場所にあるので、私たちはまず歯ぐきの中を慎重に探知して、どのあたりでどんな風に歯石がついているのかをイメージします。



そして超音波で歯石を粉砕する「超音波スケーラー」と、硬い歯石を掻き出す「ハンドスケーラー」と呼ばれる器具を使って歯石を取ります。超音波スケーラーで縁上歯石やとれる範囲の縁下歯石を取り、取り切れない細かい歯石や硬い歯石をハンドスケーラーで取ります。



← 超音波スケーラー



ハンドスケーラー →

歯石が付いてしまったら私たちにお任せください！
歯石が取れて歯がツルツルになったら気持ちいいですよ。

3月の予定

- ★ 院内研修のため **3/16(金) 午前** は **休診** といたします。
- ★ 矯正診療日は **3/22(木) 午後** です。